

Tokyo Tobihino Rotary Club



会長 渡邊良勝



幹事 朝倉邦雄

国際ロータリー第2750地区 多摩南グループ

東京飛火野ロータリークラブ

会長テーマ「奉仕活動は出席ではなく参加しよう」

2014▶15 Weekly Report vol.27-16



RI会長 ゲイリー・C.K.ホアン

2014年 11月18日(火)~19日(水) 第1228回 移動例会親睦旅行「越後路の紅葉を訪ねて」於：湯田上温泉

■初日(11月18日)は、豊田～日野～高幡不動で乗り合わせ、バスは国立府中インターから中央道、八王子ジャンクションを経て、圏央道、鶴ヶ島ICから関越道に入り、途中休憩を挟みながらバスは順調に進む。関越トンネルまでは天気もよく車窓から遠く近くの紅葉が眺められた。トンネルを出ると雨まじりの雪が降っており路肩が白くなっていた。初雪とのこと。小千谷ICを下り最初の見学場所、朝日酒造に。雨脚が早くなったりするも酒蔵に着く頃には小雨になる。敷地内の2013年にできた「螢庵(ほたるあん)」で、越後そばを啜り昼食。休憩後、酒や甘酒等土産品を見てから所内を見学。コンクリートの建物は酒蔵に見えない。醸造している心臓部は見られず瓶詰め工程を係員が案内。清酒「朝日山、久保田、越州」の醸造元、新米が採れ新酒の仕込みが始まっている。観光名所にもなっている。創業は江戸中期の天保元年(1830年)、銘柄の由来は創業時の屋号「久保田屋」から採ったもの。約40分程見学車内に戻る。

次に、今回旅行のメイン見学先、新潟県中越沖地震の伝承と防災学習施設「小千谷震災ミュージアムそなえ館」に向かう。大震災発生から7年後の2011.10.23に出来た施設ですが、2014年7月には5万人が訪れています。2014年6月1日には天皇皇后両陛下が来館「いろんな情報があると災害があった時に心構えが出来ます」と感想を述べています。

最初に記録映像を見る。館内は当時の凄まじい記録を写真で紹介震災への備えを学習できる施設。2007(平成19年)年7月19日発生した地震から、復興までの月日を迎えることで、教訓をしっかり学び未来の災害への備えの大切さを伝えてゆく施設です。数名が地震の揺れを地震ザブトンで体験。見学後、売店で防災グッズを買い求めた。先日の御嶽山の噴火もそうですが、自然の猛威・地震の破壊力を思い知らされ防備への思いを新たにしました。

その後バスは再び関越道に戻り目的地の湯田上温泉郷に向かい、燕三条ICを出て暗い夜道を走り定刻に今宵の宿「ホテル小柳」に到着。荷をほどき疲れた身体を温泉で癒す、湯田上温泉は1738年開湯で護摩堂山の修験者が護摩を焚きその疲れを癒した所から「薬師の湯」と呼ばれ、湯治場として利用されてきたが、1999年新源泉が開発され、町も多目的交流施設を作り観光客が訪れるようになった。湯田上の名称は湯と所在地の田上を合わせたもの。宴会は7時から。

■開会点鐘 会長 渡邊良勝

●会長挨拶 会長 渡邊良勝

親睦旅行たくさんの方の会員に参加頂きありがとうございます。2日間楽しみたいと思います。企画から実行まで朝倉幹事、親睦委員会ご苦労様です。

■会長報告 会長 渡邊良勝

ゲスト紹介は顔馴染みの御夫人方ですので省きます。

1.先日鹿島会員にPHFの記念品・感謝状をお届けしました。その時に旅行への御祝儀を頂きました。今、診療は午前中で午後は休んでいるとのこと。食べ物に制限があるので例会にも出られないので退会しようかと悩んでいるとおっしゃられたので、遺留してきました。

2.11月12日日野RCへ、次年度の水野GE、馬場実行委員長、私(渡邊)地区副幹事で地区大協会への協力をお願いに行ってきました。

3.本田さんは情報の集いに、水野GEは2015~16の補助金セミナーに出るので今回の旅行は欠席です。

4.12月2日の総会で役員選出に例年通りだとあまり時間が掛からないと判断し、1月13日水野GEの壮行会のクラブ協議会を独断で決めましたがよろしくお願いします。

■幹事報告 幹事 朝倉邦雄

特にありません

■閉会点鐘 会長 渡邊良勝

閉会后、藤野委員長の挨拶、濱田会員の「元気である限り親睦旅行は参加したいと思っています。今日は天候にも恵まれ楽しい一日になりました。明日の公園散策・神社参拝も楽しみです。クラブの繁栄と皆さんの健康を祈念して「乾杯」の音頭に全員で唱和して宴会が始まる。山海の珍味に箸が進み、アルコールもほどなく回ったところで恒例のビンゴ大会、ゲームもパソコンでできるようになり数字が出て、朝倉幹事が読み上げるとカードに注目、暫くすると「リーチ」の声がかかり、間もなく「ビンゴ」と手が上がり喜色満面で賞品をゲットする人が出始めました。楽しい時間はたちまち経過、小島次年度会長の挨拶と一本締めで宴はお開きに。宴会後はゲットした賞品を手に部屋に戻る人、二次会でカラオケ、ゲームを楽しむ人に別れました。

2日目(11月19日)

「洋食器センターキタローから弥彦神社へ」

定刻に宿を出発、燕・三条の名産品と洋食器を売る「洋食器センターキタロー」に寄り、約1時間程見学・買物を

楽しむ。先ず実演コーナーでスプーンの製造工程を見学。ここはインテリア・雑貨・刃物類の観光スポット。ドラえもん・不思議のアリス・プチマリン・プチ動物園・等の洋食器を売る。洋食器はメーカー直売で市価より20～30%安い。激安品を集めたキッチンアウトレットとコーナーも人気がある。また阿弥陀如来スプーンのパワーの真しやかな話が伝わっている。三条の逸品(刃物・洋食器、作業工具)は、国内外で愛用され生産地として名高い所です。「キタロー」は方言で“きたよー”の意。燕は洋食器、三条は鍛冶屋が多く刃物の名産地。

再びバスは紅葉の名所「弥彦公園のもみじ谷」「弥彦神社」に。ここは越後平野の西部にあり弥彦山の山麓に位置する、神社裏手からロープウェイが山頂へのびている。弥彦は「いやひこ」だが、地名などがすべて弥彦(やひこ)のため一般に弥彦(やひこ)と呼ばれる。この公園は弥彦神社の外苑だ。散策途中には青空も覗き、紅葉の最盛期は過ぎた感はあるが、色づいた紅葉に心が和む。公園内を散策し、弥彦神社に向かう。菊祭りで参道の両サイドに愛好家が「丹誠込めた菊」が並びとてもきれいでした。拝殿で参拝。弥彦神社は古くから“おやひこさま”と呼ばれ、祭神は天照大御神の孫、天香山命(あまのかぐやのみこと)、創建は不詳、拝殿は明治45年焼失し大正五年建立され、大社造りで堂々とした立派な建物で国の登録有形文化財、宝物殿には国宝の刀剣、境内には国宝のお社もある。心の故郷、魂のよりどころとして人々に崇められている。万葉集にも弥彦神社を詠んだ歌が2首あります。和美人になるパワースポットもあり、境内を歩き拝殿で参拝、身も心も浄まり大きななんとも言えないパワーをいただきました。参道前は土産物屋が並び地元の名物や特産品を売っていました。

その後、バスに乗車「寺泊」へ向かう、市場に行く前にホテルで昼食。休憩後、海産物の「アメ横」といわれる市場

へ。平日だが観光バスが止り買い物客で混雑していた。各々が思い出求め、帰路に着く。バスは関越・圏央道を順調に走り、到着前に親睦委員長の「家の玄関入るまでが旅行です。ご協力ありがとうございました」の御礼の挨拶、渡邊会長から「お疲れ様でした。今週土曜日はIMです。よろしくお願いします。」と挨拶、ドライバーに感謝の拍手を贈り、定刻前に高幡不動駅前に到着、第1陣を下ろし日野から豊田に向かった。

出席報告	総数	出席	MU前	MU後	欠席	出席率
第1228回	28	15	6	—	7	75%
第1226回	28	23	0	0	5	82.1%

※今週のメイクアップ 本田さん 小高さん 水野さん 谷さん
黒川さん 栗山さん

※先々週の後メイクアップ なし

●11月12日次年度役員、次々年度会長幹事2015～16年度理事候補者告示(敬称略)

2016～17年度会長幹事候補者

会長 馬場弘融
幹事 河野和正

2015～16年度

会長 小島 明(前年度選出)
幹事 朝倉邦雄(前年度選出)

2015～16年度会計候補

星野幸夫

2015～16年度理事候補者

理事 平 良信
理事 梅田俊幸
理事 早川忠男
理事 谷 和彦
理事 栗山 博
理事 生沼通男
理事 大塚洋晃

